

臨床検査専門科目	生体機能検査学					
		1単位	講義	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	基礎生体機能検査学					
担当教員	櫻井進					
目的	臓器別（呼吸器・循環器・神経系）の各種病態を理解し、関連する生体機能検査の種類および概要を学ぶ。領域別の生体機能検査学を学ぶ上での基礎知識を学ぶ。					
目標	<p>生体機能検査に関連する主な病態を理解し、領域別の生体機能検査かどのように用いられ、評価されているかについて説明できる。</p> <p>呼吸機能系検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸器系構造と機能について説明できる。 代表的な呼吸器系疾患の病態について説明できる。 代表的な呼吸機能系検査について説明できる。 <p>循環機能系検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肺循環、体循環に関して血管および血流について説明ができる。 心電図検査の標準誘導方法および代表的な心電図波形の説明ができる。 心臓超音波検査の代表的な描出方法について説明できる。 超音波検査法に関連する物理的特性およびアーチファクトについて説明できる。 <p>神経機能系検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳神経系の構造と機能について説明できる。 脳波、筋電波形の発生機序、正常および異常所見について説明できる。 					
他科目との関連	呼吸機能検査学、循環機能検査学、超音波検査学、感覚機能検査学、生体機能検査学実習、生体機能検査学特論につながる導入科目である					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験点数				1
	レポート					
	記録等					
	その他					
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	「臨床病態学1」ヌーベルヒロカワ					
参考資料	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学（医歯薬出版）、「生体機能検査のABC」日本医師会、「生理検査学・画像検査学」医学書院					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						